

第 4 回 篠山東中学校運営協議会実施報告書

1 学校運営協議会の開催について

- (1) 開催日時 平成31年2月20日(水)19時00分～20時30分
 (2) 開催場所 篠山東中学校 会議室

2 出席した学校運営協議会委員の氏名・所属等及び出席状況

氏名	所属等	出欠	氏名	所属等	出欠
小嶋 昇	後川地区自治会長会	○	中野 光司	雲部地区自治会長会	×
森口 久	日置地区自治会長会	×	畠中 俊明	大芋地区自治会長会	×
細見 隆秀	福住地区自治会長会	○	山崎 陽子	多紀老人クラブ 副支部長	×
東浦 篤史	村雲地区自治会長会	×	溝端 洋美	校長	○
藤井 葉子	多紀地区民生児童委員	○	小川 浩一	教頭	○
梶谷 一治	PTA副会長	×	谷口 泰弘	担当教諭	○
出口 玲子	城東地区主任児童委員	○			

3 傍聴人数 0名 (委員以外の参加人数)

4 議題及び会議の公開又は非公開の別 (すべて公開)

主な活動内容及び主な意見内容 (審議の概要)

(1) 学校関係者評価について

- ・重点目標として適切である。重点目標は学校だけの課題ではなく、家庭の目標としてとらえ、地域からも発信が必要だと感じる。
- ・学校を訪問したときも地域でも、生徒たちは気持ちのよい対応をしている。生徒の礼儀の良さに感服する。そんな生徒が地域の子だと思えば地域としてはすごく嬉しい。
- ・地域ボランティアでも地域からすばらしい評価を受けている。
- ・「学校でスマホ解禁」如何なものか？モラルは保護者の責任で守らせなければならないと思う。何でも学校の指導に頼ってはいけないと思う。
- ・不登校生には、時間はかかっても子どもの思いを傾聴し、大人の思いも伝え続けてやってほしい。
- ・「学校へ行くのが楽しい」「自分にはよいところがある」の項目が高い値を示していることを大変嬉しく思う。さらに、伸ばしていただきたい。
- ・学校からの広報活動が十分満足でないというが、保護者が何を求めておられるのだろう。地域としては、学校だよりとHPで学校の様子は把握できる。学校だよりは地域の会で、地域につながるツールとして活用している。これ以上情報を知りたい保護者は、学校に行き、自分の目で、自分の耳で確かめることだと思う。

(2) 本年度の活動状況と成果と課題

- ①「地域のエキスパート」の活用により教育活動が活性化した。
- ②「地域のエキスパート」を有効活用するための仕組み作りと学校が主体的に取り組むこと、地域が主体的に取り組むことのすみ分けが必要である。

5 会議資料の名称

- ・平成30年度篠山東中学校「学校評価」まとめ (後期)
- ・平成30年度篠山東中学校運営協議会活動状況 収支決算書
- ・平成31年度篠山東中学校運営協議会取り組みについて

6 次回開催予定

- (1) 開催日時 平成31年5月中旬
 (2) 開催場所 篠山東中学校 会議室

